

## 内視鏡室を紹介します



主に消化管を内視鏡を用いて検査や治療を行っています。

(胃カメラ・大腸カメラ・逆行性膵胆管造影(ERCP)・気管支鏡など)

他にはポリープを切除したり、口からの食事の摂取が困難になった方に胃瘻の増設をしたり、膵胆管の疾患の方にはステントを留置したり採石したりと、治療目的の検査も多く行われています。

内視鏡検査といえば、苦痛を伴う検査として敬遠されがちですが、最近では鎮静剤を使用し眠った状態にして検査することが多く、また経鼻内視鏡を使うなど患者さんのご希望に応じて、不快感や痛みをあまり感じず検査を受けて頂けるようにしています。皆さんに安心して検査を受けて頂くことにより、検査数は年々増加し、病気の早期発見、治療にもつながっています。

内視鏡を使った処置や治療が多くなってきています。医師をはじめスタッフ一同、安心して検査を受けて頂けるように日々努力しています。